

大学教育再生加速プログラム（AP） 事後評価調書

【公表】

1. 整理番号	67
2. 大学等名	東北公益文科大学
3. テーマ	V. 卒業時における質保証の取組の強化
4. 取組学部等名	全学 [公益学部]
5. 事業期間	平成28年度～令和元年度（4年間）

【公表】

8. 事業の概要（※400字以内）	（394.5文字）
<p>本学では3か年の第1期吉村プランに基づく教育改革を行っており、APのテーマ I-IVの事業を推進している。本事業では学生の取り組みの量的な充実を通して、主体的に生きる質的に優れた学生を育成することを目標とし、新規に5つの事業に取り組むことで卒業時における学生の質保証に向けた取り組みを総合的に加速する。</p> <p>(1) コーチング法を用いたアドバイザー面談に加え、身近なモデルを提供するミラーリング法の導入により、学生自身の振り返りや目標設定を充実させる (2) 学修支援センターを設置し学修機会を提供して学修量を増加させる (3) ルーブリックやアセスメントテストを既存のアセスメントツールと有機的に関連づけ学修成果を客観的に評価・可視化する (4) 学修成果を社会に発信するポートフォリオを新規に開発し在学中に活用することで学生の質的充実を図る (5) ステークホルダと緊密に連携し人材育成の評価方法の開発や評価の実施を共同で行う</p>	